

令和7年 9月11日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖中学校
校長 西岡いずみ

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

国語と数学が令和7年4月17日、理科が令和7年4月14日から17日のうち指定された日に下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点「知識・技能」においては全国の平均正答率を上回っていましたが、「思考・判断・表現」においては全国の平均正答率を下回っていました。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国の平均正答率を上回っていましたが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」では、全国の平均正答率を下回っており、課題がみられました。
- ・「ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したものとして適切なものを選択する」、「『話の順序を入れ替えた方がよい』という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する」という問題では、全国の平均正答率を上回っていました。授業の中で、スライドを用いた発表等を取り入れることで文章の構成や展開を考える力が身に付いたと考えられます。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」では、全国の平均正答率を下回っていました。また、「数と式」・「図形」・「関数」・「データの活用」の4領域で、全国の平均正答率を下回っていました。今後、授業内容の定着を図るよう基礎・基本を繰り返し取り組んでいきます。
- ・「△ABCにおいて、∠Aの大きさが50°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める」という問題では全国の平均正答率を大幅に上回っていました。また、無回答率も低かったです。

(3)理科について

- ・全体の平均 IRT スコアは、全国の平均 IRT スコアを上回っていました。
- ・評価の観点「知識・技能」においては全国の平均正答率を上回っていましたが、「思考・判断・表現」においては全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「生物 1 から生物 4 までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する」、「塩素の元素記号を記述する」、「牧野富太郎の『ノジギク』のスケッチから分かるスケッチの技能について、適切なものを選択する」、「牧野富太郎の『サユリ』のスケッチから、サユリの【茎の横断面】、【根】として適切なものを判断し、選択する」という問題において全国の平均正答率を大幅に上回っていました。観察、実験に主体的に取り組む中で、知識や技能が身に付いてきていることがうかがえます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか。」という質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は全国の割合を上回っていました。各教科等で ICT 機器を使ってプレゼンテーションを行っていることが成果として表れています。
- ・「朝食を毎日食べている」の質問に対して、肯定的な回答をした生徒の割合は全国の割合を上回っていました。「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は全国の割合より若干下回っていました。それでも、多くの生徒が、健康的な生活習慣を心がけて生活することができていることがうかがえます。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・ICT 機器を利活用し、効果的に授業を展開することで、生徒の興味・関心を引き学力の向上を目指します。
- ・めあての掲示、流れの掲示、授業の振り返りを行うことで、確実に授業内容の定着を図ります。
- ・授業のユニバーサルデザイン化を推進し、すべての生徒が学びやすい環境を整えていくことに努めていきます。
- ・授業の進度に応じた週一課題を設定し、生徒は毎日家庭学習に取り組んでいます。さらに定期テストの前には、目標を立て、計画的に学習に取り組めるよう支援していきます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：学年＋1 時間】

- ◎毎日、決まった時間に家庭学習を行うように声かけを行い、お子さんの学習習慣の定着を目指しましょう。
- ◎情報通信機器の利用方法について、家庭でお子さんとしっかり話し合い、各家庭でルールを設定しましょう。
- ◎苦手教科やテストのやり直し等復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎お子さんの健やかな成長のために「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけてください。
- ◎学校だより、学年だより、学級だより、授業プリント、ステップアップ等をご覧いただき、お子さんの成長を学校と家庭で共に支えていきましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。